

第17回 歴史文化をめぐる地域連携協議会

地域歴史遺産の 〈活用〉 を問い直す —地域資料館の可能性—



2019年2月3日(日) 11:00 ~ 17:00

神戸大学瀧川記念学術交流会館
参加無料 事前申込制 (定員70名)

申込方法 ①氏名、②住所、③電話番号、④Eメールアドレス(お持ちの方のみ)、⑤所属肩書、⑥情報交換会(=懇親会 ¥4000)への参加可否、⑦昼食弁当(¥800)の注文可否を必ずご明記の上、郵便かEメール、またはFAXで、下記までお申し込みください。
※当日、学食は開いていません(構内にコンビニ有)

申込締切 2019年1月28日(月)

※趣旨・プログラムは裏面をご参照ください。

その他、詳しくは、人文学研究科地域連携センターホームページのお知らせをご覧ください。



[アクセス]

阪急電鉄「六甲」駅、JR「六甲道」駅、阪神電鉄「御影」駅から市バス36系統「鶴甲団地」行乗車「神大文理農学部前」下車

《連絡先》

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL&FAX 078-803-5566

E-mail area-c@lit.kobe-u.ac.jp

URL <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターでは、2002年の開設以来、地域歴史遺産をめぐる諸課題について、地域のみならずとも議論を続けてまいりました。とりわけ「活用」は、その中心的なテーマのひとつであり、地域歴史遺産を守り、伝えていくためには、いかにしてそれらを活用していくかということが大きな課題となっていました。

こうした過去、何度も議論を重ねてきた「活用」について、今ふたたびテーマとして設定する理由は2つあります。

ひとつは、十数年間の議論の到達点を、今一度みなさんとともに確認しておきたいからです。

もうひとつは、こうした到達点を踏まえて、いまこそ地域歴史遺産の活用を正面から議論する必要があるという点です。この間の協議会では地域歴史遺産の活用をめぐる、ふたつの方向性が議論されてきました。ひとつは、多くの人びとが何らかの形で地域歴史遺産に関わることが、地域の歴史文化と人びととの距離を縮める役割を持っているということ、ふたつめは、地域歴史遺産を活用することで、地域史研究やまちづくりなどに活かしていく方向性です。ただ、後者の活用についてはある種の難しさがあり、ともすれば対象に向き合うことなく、経済的利益のみを追求す

るような方向での活用も見受けられます。

こうした状況において、地域社会のなかで地域歴史遺産をよりよく「活用」する方法とは何かについて、今一度、みなさんとともに議論をし、課題を共有しておきたいと考えています。

今年度の協議会では、地域歴史遺産の活用をめぐる、尼崎市の事例を基に協議していきたいと思えます。尼崎市ではこの間、尼崎市立地域研究史料館をひとつの拠点とし、住民と自治体、大学とが関わり合いながら、様々な取り組みが展開されてきました。尼崎市の取り組みからは、単に尼崎の事例にはとどまらない、兵庫県全体や日本社会における歴史文化と地域社会との関係性や、そのもとの地域歴史遺産の「活用」をめぐるあり方について、全体を見据えた議論を見通すことが可能であると考えています。

私たちはこの協議会自体が、多くの参加者の間でつながりが生み出される場となることを願っています。そのため協議会の合間にできる限り時間をとり、各団体の方々が交流できるコーナーやポスターセッションの場を設けたいと考えています。多くの方々に活動の成果物や書籍をお持ちよりいただき、展示・交流していただければ幸いです。多数のご参加をお待ちしております。

プログラム

- 11:00 開会挨拶 内田 一徳（神戸大学理事 / 副学長）
- 11:05 主催者挨拶・趣旨説明 奥村 弘（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター長）

□第1部 活動報告

- 11:20 活動報告① 藤田 均（〔三木市〕よかわ歴史サークル）
「よかわ歴史サークルの活動について」
- 11:40 活動報告② 波多野 富則（〔朝来市〕金浦区自治会）
「わが故郷の記録『金浦の歩み』作成の取り組みについて」
- 12:00 質疑応答
- 12:10 昼食・交流会

□第2部 協議会「地域歴史遺産の〈活用〉を問い直すー地域資料館の可能性ー」

- 13:10 問題提起 井上 舞（神戸大学大学院人文学研究科特命助教）
- 13:15 基調報告 辻川 敦（尼崎市立地域研究史料館館長）
「歴史分野における公的セクターの、地域社会・市民社会へのコミットメントー尼崎の事例からー」
- 13:55 報告① 武田 壽夫（尼崎市立地域研究史料館ボランティア）
「週2日の史料館詣でーデジタル化作業の経験からー」
- 14:15 休憩
- 14:20 報告② 若狭 健作（尼崎南部再生研究室）
「歴史文化を面白がり共感を生むために」
- 14:40 報告③ 大江 篤（園田学園女子大学教授）
「尼崎市立地域研究史料館と大学ー地域を志向した教育・研究ー」
- 15:00 コメント 村野 正景（京都文化博物館学芸員）
- 15:20 休憩・交流会

□第3部 全体討論（～17:00 終了）

- 15:40 討論 司会：奥村 弘

□情報交換会

- 17:30～19:30（瀧川記念学術交流会館1階食堂 / 会費制）